
「浅沼組が協力会社協働による 作業所生産性向上策 表彰式・発表会を開催」

株式会社浅沼組（本社：大阪市、代表取締役社長 浅沼誠）は、10月27日に第5回となる「協力会社協働による作業所生産性向上策 表彰式・発表会」を開催いたしました。

この取り組みは、浅沼健一前社長の「浅沼組が将来にわたり持続的成長をするためには、共に作業所で働く協力会社様からの生の声を聞き、知恵を出し合うことが不可欠」という考えから、2017年度より始めた協力会社で構成される弥生会と当社による定期的な意見交換会から生まれた取り組みのひとつであり、また当社の中期3ヵ年計画においても「協力会社との協働による生産性向上」を施策として掲げております。

表彰式・発表会の開催に先立ち、浅沼社長より以下の挨拶がありました。

（浅沼社長 開会の挨拶要旨）

本日ご出席の各賞を受賞されました協力会社の皆様、社員の皆様、すばらしい生産性向上策を、ありがとうございます。そして、受賞本当におめでとうございます！

常々わたし自身も、作業所の生産性を向上させるためには、協力会社様との協働による作業所独自に発案した取り組みやアイデアを収集するとともに、さらにそれらを会社全体に水平展開することが、非常に有効だと考えています。

皆さんご存じの通り本年度は、2021年度からスタートした中期3ヵ年計画の最終年度です。基本方針である【浅沼組らしさ（独自性）を深耕させ「変化に挑戦】を完遂させるために、様々な取り組みに挑戦中ですが、わたしはこの生産性向上策や創意工夫策こそが、浅沼組らしさ（独自性）を深耕させるための大きな柱のひとつだと考えています。

最後に、このような表彰式並びに発表会に刺激を受けることにより、共に作業所で働く協力会社様と知恵を出し合うことで、今後さらに多くの生産性向上策や創意工夫策が集まることを祈念しています。

この表彰式・発表会では、広く募集した当社の各作業所における生産性向上策の中から、社員投票及び審査によって選考された社長賞1編と優秀賞3編が表彰され、その後、受賞した4演題（後掲）の発表がありました。発表会では、費用対効果を踏まえた施工の効率化・品質確保など、生産性の向上には新技術への対応だけでなく、改善の意識と創意工夫の重要性などが共有できたと考えています。



開会の挨拶



表彰式



発表の様子



社長賞1編の発表



優秀賞3編の発表

○ 発表演題

発 表 演 題	
社長賞	<p>バルコニー底金物を型枠兼用としコンクリート打ち込みを実施 京都市地域一体化施設整備工事 作業所 協力会社：第五建設株式会社、株式会社池内工業</p>
優秀賞	<p>土留支保工形状変更（火打ブロック使用他）による作業効率アップ 大阪市楠葉取水場耐震 作業所 協力会社：豊開発株式会社</p>
優秀賞	<p>大型車路の外部天井をケイカル板から折板吊天井へ変更 （仮称）DPL横浜港北Ⅰ新築工事 作業所 協力会社：株式会社アステル</p>
優秀賞	<p>現場PCによる柱根巻コンクリート設置 （仮称）LF奈良ANNEX新築計画 作業所 協力会社：第五建設株式会社</p>

お問合せ先

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町3丁目24番1号

株式会社浅沼組 技術研究所 立松 和彦

TEL 072-661-1622（直通） FAX 072-661-1730

E-mail: tatematsu-kazuhiko@asanuma.co.jp